

高松市立国分寺南部小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな感性をもち、未来を創る国南小の子ども

【本校の課題】

- 全体的に体力テストの結果は向上の傾向にあるが、令和3年度の1～5年生（現2～6年生）において、男女とも、ほとんどの学年で多数の項目が、県・全国平均を下回っている。
- 運動に対する意欲に差が大きく、昼休みや20分休みに運動する児童が限られている。
- 新型コロナウイルスによる運動場の分散使用や体育的活動の縮小による体力の低下・二極化が考えられる。

【現状】

学級の人数が35人近くになる学級においては、領域によって運動回数や運動時間の確保が難しい領域があり、柔軟に対応したり工夫したりする必要がある。

運動が習慣化していない児童が多く、休み時間等の体を動かせる時間を室内で過ごす児童が多い。運動能力に差が生まれ、運動への意欲がさらに低下する要因にもなっている。

【取組】

教科体育の時間に

運動量を確保し、児童が様々な運動に取り組めるよう教材を増やしたり、工夫したりする。学年団集会でふり返りの時間をもち、次回に向けて授業改善する。

縄跳びを1校1運動に

昨年度から業間休みの時間に縄跳び運動に取り組んでいる。チャレンジカードを配布したり、活動中にアップテンポな音楽を流したりすることで、運動が苦手な児童の意欲向上につながるようにする。

休み時間をしっかり遊ぶ時間に

クラス全員と一緒に遊ぶ日を設定し、外遊びを奨励する。ジャンピングボードや握力計を常設したり、ドッジボール大会を開いたりして、児童が体を動かして遊ぶ環境や機会を確保する。

放課後の運動クラブの充実

1学期は水泳、2学期は陸上に取り組む。特に、水泳では、B&G海洋センターの職員の方を講師としてお招きすることで、より専門的な指導を児童が受けられるようにする。

体育授業の充実

体育の授業を充実させるために、現職教育や若年研修で外部講師の指導の様子を参観する。機械運動強化月間には、道具の出し入れが容易にできるよう準備の支援を行っていく。

【目標】

- 新体力テストの結果で県・全国平均並み以上の項目数がR3年度を越える。
- 休み時間に運動場で遊ぶ児童の割合を70%以上にする。
- 欠席者数が全校児童数の1%以下の日が40日以上になるようにする。
- 放課後の運動クラブを魅力ある活動にし、参加児童数が対象者数の50%を越える。